

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスPLUSONE		
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		2025年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年2月10日		2025年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○中学生、高校生の社会生活(学校生活)での困りごとの解決 中高生となると徐々に目に見える困りごとは少なくなってくるため、本当に困っていることが見逃されがちとなる。そんな思春期の成功体験や失敗体験から自分が納得できる自己決定ができるまでの支援を継続したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないままにしていた学習の躓きの再学習 ・わからないこと、できないことを相談できる対人関係の構築 ・定期試験に向けての目標・計画づくり。 ・授業中に困らない予習復習の支援 ・優先順位の決定のアドバイス 	希望者には検定試験のための準備、指導を提案し授業計画を立てる。
2	○一人ひとりの苦手な分野や課題に寄り添った支援 特性を自分なりに理解し処世術を身につける(特性を強みに) 自分の特性を利用して集団の中での立ち位置発見ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の可視化(来所時のスケジュールを自分で決めて表記する) ・目や耳に入る情報を少なくする(視覚過敏、聴覚過敏) ・ゆっくり、みじかく、正確に伝える(遠まわし、あいまいは表現はしない) ・ケアレスミス、物忘れのチェックの方法 	
3	○中学生、高校生に特化した「進路支援」を目標としている自分の得意、好きを生かした進路決定支援。 好きなことを専門的に学ぶ、興味のあることに挑戦するという思いを提供する。 多岐にわたる進路決定の道があることを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング ・プロによる体験授業の取り組み(プログラミング、声優、漫画、イラスト、美容など) ・各自がPCを使えるように提供し、動作にも慣れ親しむ。 ・目標とする進路実現のための学習指導。 	進学後のサポート(特にLDの悩みなど学校側との調整)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域連携、保護者様同士の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生に特化した放課後等デイサービスがあまりなく他事業所との交流がない状況。 ・年齢的に保護者・本人との連携を重視し進路支援をするため、保護者同士の連携をあまり必要としていなかった。 	適時アンケート調査などを行い、希望があれば開催をしたい。
2			
3			